

「瀬戸内市オリジナルSDGsカードゲーム」 (岡山県瀬戸内市)

取組概要

市内唯一の高校である県立邑久高校及び公益財団法人岡山県環境保全事業団と連携し、金沢工業大学が作成している「THE SDGs アクションカードゲーム X クロス」をベースに、市の総合計画に紐づいた「瀬戸内市オリジナルSDGsカードゲーム」を作成し、小・中学校での出前授業を通じて、子どもたちから市に対して課題解決アイデアを提案してもらうことで、地域参画を促すとともに、地域ステークホルダーの関係性づくりを進めている。

取組の効果

高校生の主権者教育と、子どもたちのシビックプライドの醸成や、地域の担い手育成につながっている。また本事業を通じて、邑久高校を核として多様なステークホルダーが効果的に関わり、良い関係性が構築・維持されている。子どもたちの提案が事業化していく仕組みが加われば、更なる展開が図られると考えている。

創意・工夫した点

高校生が市職員に対してヒアリングを行って作成したオリジナルのSDGsカードと、そのカードを用いた体験プログラムの構築・出前授業展開がベースとなっており、その中で地域課題解決のための主権者教育と解決アイデア創出が行われる仕組みを作っている。

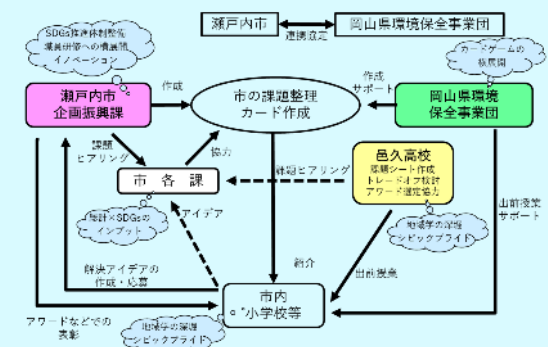
他団体へのアドバイス

大人が思う以上に、子どもたちは地域に愛着を持ち、地域のことを考えていることが分かった。地方創生の一層の深化に向けては、子どもたちの参画による新たなPDCAサイクルの確立が重要だと考えている。

人口 36,484人 (R6.1.1現在)

担当 総合政策部企画振興課

「瀬戸内市オリジナルSDGsカードゲーム」のスキーム



市職員への聞き書き



市内小学校での出前授業